

# 中小企業景況調査結果(平成28年4~6月期)

## 中小企業の業況は、小幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成28年4~6月期実績と平成28年7~9月期見通しについての調査結果(回答数87社、回答率87%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

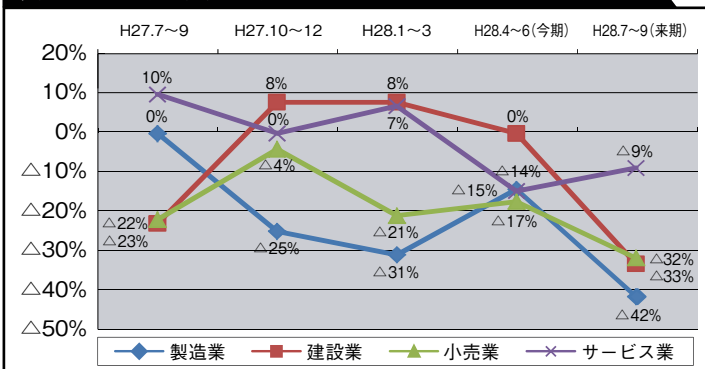
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲9%から▲14%に低下した。業種別にみると、小売業が▲21%から▲17%に縮小、製造業は▲31%から▲14%に大幅に縮小したものの、来期は▲42%とマイナス幅が大幅に拡大する見込みである。建設業は、8%から0%に低下、サービス業も7%から▲15%に低下しマイナス圏になりいずれも悪化の見通し。従業員数は▲5%から0%に増加し、中でも製造業は▲18%から15%と大幅に増加で前期を上回り、人手不足感が弱まった。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の14%で特に前期と変化は見られなかったが、緩やかに増加している。経営上の問題点については、従業員の増加に伴い製造業と小売業で、「人件費の増加」が挙げられている。建設業は、「民間需要の停滞」、サービス業は、「利用者ニーズの変化への対応」が挙げられており、今期も解消されていない。

### ◆業況DI値(今期の状況)

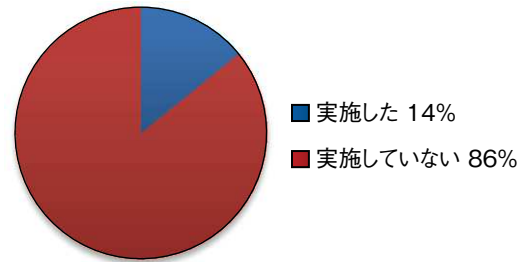
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△14%	↘	△16%	↘	△6%	→	21%	↘	△20%	↘	0%	↗
製造業	△14%	↗	0%	↗	△7%	↗	29%	↘	△29%	↗	15%	↗
建設業	0%	↘	△15%	↘	8%	↗	8%	↘	△15%	↘	8%	→
小売業	△17%	↗	△29%	↘	△21%	↘	29%	↗	△39%	↘	0%	↘
サービス業	△15%	↘	△9%	↘	3%	→	16%	↗	△3%	↘	△9%	→

### ◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

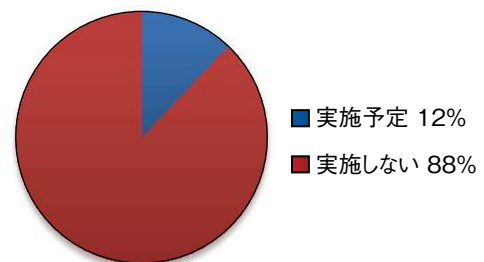


### ◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

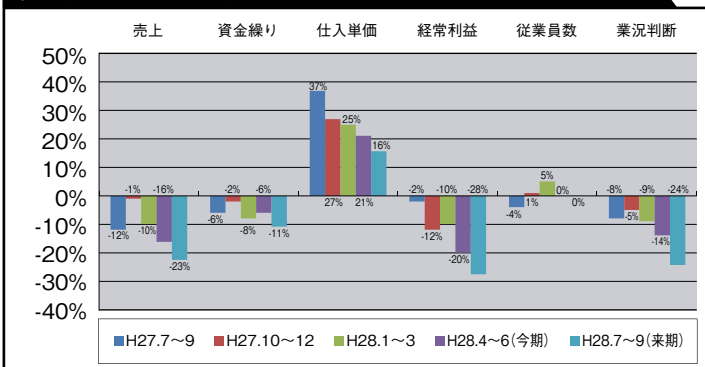
#### 【今期設備投資】



#### 【来期設備投資計画】



### ◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



### ◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	需要の停滞	22.9%	民間需要の停滞	21.2%	需要の停滞	20.7%	利用者ニーズの変化への対応	14.0%
2位	生産設備の不足・老朽化	20.0%	官公需要の停滞	21.2%	購買力の他地域への流出	17.2%	店舗施設の狭隘・老朽化	14.0%
3位	人件費の増加	8.6%	従業員の確保難	12.1%	消費者ニーズの変化への対応	13.8%	事業資金の借入難	3.5%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。